

令和 6 年度 第 1 回

逗子市子ども・子育て会議  
会議録

令和 6 年 5 月 24 日開催

## 令和6年度 第1回 逗子市子ども・子育て会議 会議録

1 日 時 令和6年5月24日（金）午前9時30分から午前11時30分まで

2 開催場所 体験学習施設スマイル 多目的室（アトリエ）

3 出席者

（1） 委員（名簿順）

豊田委員、横山委員、市川（悟）委員、小関委員、渡部委員、市川（由）委員、  
渡邊委員、武藤委員、横地委員、寶川委員、小野委員 以上11名

（2） 事務局

福井教育部担当部長（子育て担当）（教育部次長（子育て担当）事務取扱）

子育て支援課（伊藤課長、中川担当課長（青少年育成担当）、鈴木係長、佐藤専任主査、  
稲垣主事）

保育課（梶山課長、坂田係長）

4 欠席者 清水委員、高木委員、山岡委員

5 同席者 ランドブレイン株式会社（逗子市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査の  
実施及び集計分析業務受託業者）：伊藤都市政策グループ担当チーム長 鈴木地域経営  
チーム主任

6 開催形態 公開（傍聴者 1名あり）

## 7 議 題

- (1) 子ども・子育て支援施策の実績報告書（令和5年度分）について
- (2) 子ども・子育て支援事業計画策定に係る市民ニーズ調査アンケートについて
- (3) 令和6年度子ども・子育て会議年間スケジュールについて

## 8 配付資料

次第・席次表・委員名簿

資料1 子ども・子育て支援施策の実績報告書（令和5年度分）

資料2-1 各種アンケート概要、現状とニーズ調査などから見える子育て環境の課題

資料2-2 アンケート調査結果（未就学児）

資料2-3 アンケート調査結果（小学生）

資料2-4 アンケート調査結果（中学生・高校生）

資料2-5 事業所アンケート調査結果（幼稚園・認定こども園・保育所）

資料2-6 事業所アンケート調査結果（放課後児童クラブ）

資料3 令和6年度子ども・子育て会議年間スケジュール（案）

参考資料 自治体こども計画策定のためのガイドライン（こども家庭庁作成）

令和5年度 第4回逗子市子ども・子育て会議 会議録（案）

## 9 議事概要

### 開会

- ◆ 委員11名が出席。「逗子市子ども・子育て会議条例」第5条第2項の規定に基づき、会議が成立していることを報告。
- ◆ 同条例第5条第1項の規定に基づき、会長を議長とする。
- ◆ 傍聴者1名途中入場。
- ◆ 会議録署名委員 会長、1番豊田委員、5番小関委員

## 議題（１）子ども・子育て支援施策の実績報告書（令和５年度分）について

【寶川議長】

事務局より説明願う。

【事務局（鈴木係長）】

《「資料１ 子ども・子育て支援施策の実績報告書」の説明（説明省略）》

【寶川議長】

事務局より、資料１について説明があった。何かご意見等あるか。

【横山委員】

15 ページの子育て援助活動支援事業に関して、支援会員の方が減ってきているが、それに対して、依頼をする方は少しずつだが増えていっている。支援会員の方が減ってきているのはなぜか。

【事務局（鈴木係長）】

支援会員が減ってしまっている直接的な原因はつかめていないが、新会員になるためには研修を受ける必要があり、その研修も１週間に５日間連続して受講しなければならない。仕事をされている方も多く、平日に連続して休みを取ることは現実的に難しい。今年度は、１週間連続してやるのではなく、１週間ごとに１日１コマずつ実施するよう考えている。それで支援会員が多く増えるかは分からないが、まずは入口になる研修を受けやすくする取り組みを行う。

【市川（悟）委員】

８ページの利用者支援事業の③の実施状況に「窓口や電話での問い合わせに、分かりやすく丁寧な対応を心掛けました」とあるが、具体的にどういった問い合わせがあったか。

【事務局（梶山課長）】

保育所の申し込み内容や締め切り等の問い合わせが多くあった。

【小関委員】

質問が３つあり、まず、１つ目。５ページ表の「上記以外」の数字は年々増加しているが、どのような施設か。

２つ目、９ページ（２）地域子育て支援拠点事業の①事業概要に「エ 子育て及び子育て支援に関する講習等の実施（月１回以上）」とある。コロナ禍であまり実現しなかったのかもしれないが、実施してどうだったのか。

３つ目、１９ページ（１０）病児・病後児保育事業について、現在活動休止となっている。希望している保護者の方が多いと思うが、なぜ活動休止になっているのか。市の判断で休止となったのか、問い合わせ等は無かったのか。

【事務局（梶山課長）】

１つ目の質問の「上記以外」の施設は、インターナショナルスクールを含む認可外保育施設が入っている。

【事務局（伊藤課長）】

2 目について、毎回内容を変えているミニ講演会を月 1 回以上実施している。「産後の身体と骨盤ケア」といったお母さんを対象としているものや「ベビーマッサージ」「初めての歯磨き」等の親子で参加できるものを開催している。開催する際は、ホームページに掲載している。

3 目について、病児・病後児保育事業については、今までファミリーサポートセンターにお願いしていたが新型コロナの蔓延によって休止になっている。市とファミリーサポートセンターで再開に向けて話し合いをしたが、預かってくれる支援会員の方が感染症に対して非常に慎重になっている。利用を希望する方から「再開しないのか」という声も届いているが、受ける側の体制が整っていない。無理矢理お願いすることもできないため、別の方法も考えつつ、今は状況を見ているというのが現状である。

【渡邊委員】

6 ページの「令和 5 年度の実施状況」のところで「かまくら幼稚園が令和 5 年度から新制度の幼稚園に移行した」とあるが、かまくら幼稚園は鎌倉市に所在しており、鎌倉の事業所が入っているのはなぜか。

【事務局（梶山課長）】

市外の幼稚園や保育園に行くお子さんも多く、かまくら幼稚園には逗子市のお子さんが通っているため、含まれている。

【渡邊委員】

鎌倉市だけでなく横浜市の幼稚園や保育園に行く場合も、含まれるということでよいか。

【事務局（梶山課長）】

そのとおりである。

【横山委員】

9 ページの「地域子育て支援拠点事業」について、ミニ講演会を月に 1 回以上行っていると話だったが、私も子どもが小さい時によく利用し、歯の衛生等母親に響く講演会が多く、すぐに定員に達する程だった。この講演会の内容はどのように決めているのか。子育て支援センターに来られている人の声を取り入れているのか。

【事務局（佐藤専任主査）】

毎月寄せられたご意見やミニ講演会に参加された方の傾向を確認し、それに沿って関心の多いテーマを取り扱うようにしている。最近では言葉の出が遅い等の相談が多いため、臨床心理士に言葉の発達について話していただくよう調整をした。

【渡部委員】

23 ページの「(13) 多様な集団活動事業の利用支援を行う事業」はどういった事業か。

【事務局（梶山課長）】

幼児教育・保育無償化の対象ではない施設を利用している小学校就学前のお子さんの保護者に対し、利用料の一部を負担するというもの。市内には対象の施設が無く、本市の利用者は市外にある 4 施設を利用している。

【渡部委員】

利用料の一部を補助しているということか。

【事務局（梶山課長）】

利用料の一部で1ヶ月2万円である。

【横地委員】

4と5ページの表にある量の見込みについてです。令和4年度と5年度の実績を比較すると、1号・2号認定における令和4年度の人口の合計が1,239人であるが、令和5年度は1,180人となっており、小さな子どもたちの人口が減っているのが確認できる。これに対し、1号・2号認定の一番下に記載のある過不足分が令和4年5年ともにマイナスとなっている。一方で、6ページの実施状況のところに人口減という記載がないため、過不足分だけを見ると保育園や幼稚園が足りないように捉えることができ、そういった施設を新たに作るという話になってくる。実際はそうではなく、根本的に人口が減っているため、実情を踏まえて、これからのことを考えなければ少し危険である。

減少傾向は令和5年度までの実績であるため大事なことはこれからであるが、既に今年度幼稚園が1つ閉鎖した実績がある。少子化は逗子市だけではなく全国的な大きな問題ではあるが、顕著なことは前面に出したほうが良いのではないか。

【事務局（伊藤課長）】

過不足分については、前回の計画策定時に設定した需要率に基づいて算出した数値であるため、5年が経過するとどうしても乖離が出てくる。今年度作成する計画については、需要率等を見直し、直近の傾向に基づいてこの表を作成する。今お話いただいたご意見やニーズ等を踏まえつつ、より実効性のある計画の作成を目指す。

## 議題（2）子ども・子育て支援事業計画策定に係る市民ニーズ調査アンケートについて

【事務局（鈴木係長）】

《「資料2-1 各種アンケート概要の説明（説明省略）》

【事務局（ランドブレイン）】

《「資料2-1 現状とニーズ調査などから見える子育て環境の課題」等の説明（説明省略）》

【寶川議長】

事務局より、資料2-2から2-6をまとめた資料2-1について説明があった。何かご意見等あるか。

【小関委員】

1つ目は、アンケートの回収率がかなり低いと感じる。調査方法については、未就学児調査も小学生調査も保護者が対象だと思うが、未就学児には郵送で送っているところ、小学生は小学校を通じて配布しており郵送していない。本人を対象としている中高生も、中学生は学校を通じて配布しているが、高

校生には郵送しており、届け方に差異がある。小学生の特徴としては、学校で配られたものはなかなか保護者に届かないことが多い。作業の割には、手元に届いて回答ができたご家庭が非常に少ない結果となっている。費用の問題はあると思うが、本当にこれでよかったのか。

2つ目は、子どもを育てる環境がかなり孤独化していると感じた。新型コロナの流行もあって、祖父母に預けられない状況が続き、また、小学生調査を見ても、病児・病後児保育施設をコロナ禍で利用できなかった結果、そもそも利用したい人が減ってしまったように見受けられる。さらに、放課後児童クラブへの調査では、施設の充実という意見が挙げられている。施設が減少する一方で利用を希望する子どもが増えており、子どもが居づらい環境になっている。広い施設が必要ではないか。

最後に、相談する先が無い中高生が増えているので、相談先の充実に力を入れて欲しい。

#### 【事務局（鈴木係長）】

回収率についてですが、統計学上 400 件あれば、それ以上増えても信頼度としてはあまり差が生じないということもあり、当然回収率が上がるよう努力すべきではあるが、集計上そこまで影響はないと認識している。

中高生の相談場所についても、検討したいと思っている。

#### 【小野委員】

1つ目は、未就学児や小学生等年代別に調査をしていて、それぞれ5年前の前回アンケート結果と今回結果を比較しているが、世代間の比較は行っているか。例えば、未就学と小学生の子どもがいて両方答えた場合、未就学児のときにはこういうことが凄く助かったが、小学校になってそれが無くなり困る、といったことを把握できれば良いと思う。

2つ目は、課題④で「成長に合わせた切れ目のない相談体制を構築する」とある。感想にはなってしまうが、非常に大事なことだと思う。行政でいうと、現在の仕組みでは対象年齢が異なると担当課も異なることが多い。それぞれ課では、対象となる年代の困りごとや課題を目の当たりにしているので、その層への施策は凄くやりやすいが、前後の年代については手を出しにくい。「子ども子育て」となると成人した後のことはほとんど意識が無くなってしまう。結局、子育ての不安は「自分の子どもは将来大丈夫なのか」ということだと思う。そこを自分たちだけで考えるのは不安であるが、地域社会として頼れる場所があれば、安心に繋がる。課題⑥に書かれているような「地域の協力」は大切であり、子どもたちが大人になった時にも関わってくれるところに、子どものうちから繋いでおくような政策があると良いと思う。

最後に、「子育て環境を取り巻く課題」として課題①から⑧まで並んでいるが、この順序には何か意味があるのか。アンケートの結果の重要度順になっている等、理由があれば教えて欲しい。

#### 【事務局（ランドブレイン）】

1つ目の未就学や小学生等の世代間の比較は現時点行っていないが、未就学と小学生の設問は重なっている部分があるため、その設問について比較することは可能である。また、小学生については、高学年と低学年であればアンケートは同じであるため、比較はできる。中高校生については、聞いている対象が保護者ではなく本人であり、設問がかぶっていないので、比較はできない。

【事務局（伊藤課長）】

会議の最後に参考としてお話ししようと思っていたが、参考資料として配布した、こども家庭庁作成の「自治体こども計画策定のガイドライン」の説明をする。以前から作成について話している「子ども子育て支援事業計画」に加えて、こども基本法というのができた関係で「市町村こども計画」の作成に努めなければならない。こども計画の中には、国が示したもののほかに、子どもの貧困や子ども若者について計画の中に盛り込むことになっている。切れ目のない支援については、社会福祉課地域共生係が先行して取り組んでいるが、今後は子育て支援課が協力をしながら色々なケースに対応していく形になっている。

【事務局（鈴木係長）】

順番は、特に重要度等の意味合いはなく、カテゴリー別に分けて順番に並べた。

【横地委員】

中高生のアンケートが面白いと思った。市への要望のところで、子育て世代の親と同様にまちのハード面が要望として一番多い。次に多いのが生活費の補填や教育費の補助等お金に関すること。子育て世代の親もお金に関することが上位になっており、逗子市は低所得の方が少ない方だという印象があるが、中高生からもそういった回答が出ていることが、凄く印象的である。

良かったと思ったのは、中高生アンケートの将来なりたい職業のところで、50%ぐらいの子になりたい職業があり、そのトップに医療と福祉関係があって、次に教育指導関係が入っている。その次が芸能・マスコミになっているのが面白い。このトップ2に今の中高生たちの意向が見えて、この部分を伸ばすような市の施策や教育の動きがあれば、これからの世の中のためにも良いと思う。福祉系や教育現場の人員不足が大きな課題となっているので、このアンケート結果に凄く心が動いた。

8つの課題のところに、中高生のような若者という文言が1つもなく、子育て世代や子どもたちという表現が多いため、中高生に期待するような文言があると、子ども若者支援という次の計画の方向性に繋がっていくと思う。

【小野委員】

教育現場は批判されることが多いが、子どもたちが評価してくれているのは嬉しいと思う。

【市川（悟）委員】

調査の方法と回収率について、小学校で配っているが、兄弟がいた場合は、1家庭に1通ずつ配付か、それとも兄弟3人いたら3通配付しているのか。

【事務局（鈴木係長）】

市内市立小学校全生徒に1人ずつお配りしたため、兄弟がいる家庭には同じものが人数分配られている。

【市川（悟）委員】

単純に言うと20%ぐらいはダブっていると思う。学校で配って、学校で回収をすれば回収率が上がると思うが。

【事務局（鈴木係長）】

今回のアンケートは学校を通じて配布し、インターネットで答えていただく形にした。紙で回答したい方だけ、個別にご連絡をいただき配布を行った。

【市川（悟）委員】

家に届く率が非常に少ないということを知っている中で、この方法をとったということで理解した。回収率が悪いような方法をあえて選んで、このアンケートの結果だと理解させていただいた。

もう1つ、課題⑥について、子どもと老人の問題や地域がどうまとまっていくのかという課題がある。私は子ども会の方を支援しているが、逗子市に今子ども会が残っているのは、地域では久木くらい。新型コロナの影響も大きくあるが、各地区がこの30年ぐらいで淘汰され、どういう状況か分からない。災害時にパワーを持っているのは学生や働く方たちだが、高校生以上は普段市外や県外に出ていってしまっている。小学校高学年や中学生の方がしっかり育って繋がりを作れば、全て地域と繋がっていき、いざという時に頼りになると思う。そのコミュニティとして子ども会は非常に良いものだと考えているのだが、どの課が担当になるのか教えていただきたい。

【事務局（中川担当課長）】

子ども会を繋ぐ地域連合に対する金銭的支援は、子育て支援課青少年育成係が担当をしている。久木の連合会のところに子ども会があるため、そちらには補助をしている。地域の自治会町内会を把握し、地域の活動について取りまとめて公表している担当課はあるが、子ども会に関しては、そういった内容を届ける制度がないので、一覧表にあたるものが無く把握しきれていないのが現状である。

【横山委員】

アンケート調査結果をもとに計画案が今後練られると思うが、改善策や今後望むことに関してざっくりとしか見えてこない印象を受けた。例えば、放課後児童クラブに関して望むこととして「施設の充実」と答えている割合が増えているという事実は分かるが、施設の充実は保護者視点でいうと、どういうところが充実されてないのかが分からない。安全確保も「ひやり」とした事例があったのか、こういったところを望んでいるのかというところが見えてこない。また、保護者アンケートも計画には必要だと思うが、こども計画策定にあたり、小学生も自分の意見がしっかりあると思うので、中高生と同様に子どもたちの意見を聞く場が、あってもよいのではないかと思う。そのような子どもの意見を取り入れる取り組みや施策は市として何か考えているのか。

【事務局（伊藤課長）】

市町村のこども計画を作っていくにあたり、国からも子どもや若者の意見を入れて欲しいという通知が来ている。最近通知が来たため、本市だけではなく他市町村も含めて、決まっていない状況である。どのようにやるか、どういう形で計画に反映していくか検討しながらやっていく。アンケートをやるのか職員が学校に行って子どもたちに意見を聞くのか等、色々な方法があると思うので、本市でできることは何かを色々考えながら、今年度やっていきたいと思う。

### 議題（３）令和６年度子ども・子育て会議年間スケジュールについて

【事務局（鈴木係長）】

《資料３ 令和６年度子ども・子育て会議年間スケジュール（案）の説明（説明省略）》

【寶川議長】

事務局より、年間スケジュールについて説明があった。何かご意見等あるか。書面会議も含め今年度は５回実施される。

他も含め、ないようであれば、これで本日の予定の議題は全て終了する。

閉会 以上により議事を終了し、令和６年度第１回逗子市子ども・子育て会議を閉会した。

## 10 署名

議事の経過及び結果を明確にするためこの会議録を作成し、会長及び議事録署名人は次に署名する。

会長

\_\_\_\_\_

会議録署名人

\_\_\_\_\_

会議録署名人

\_\_\_\_\_